



4月28日、2隻目となる高速船「かがやき」の就航式があり、多くの人々が詰め掛け、新船の完成を祝いました。

式の後には、餅まきや体験乗船が行われました。答志港で体験乗船したかたは、「普段乗っている定期船と違い、大きくてきれい。それに速いです」と、乗り心地の良さに満足しているようでした。

「かがやき」の就航により、離島4島すべてに高速船が運航することになりました。

みんなに喜ばれる「足」として

まちの話題 18号



5月16日、浦村町のはまなでしこの里で、同町の住民でつくる「はまなでしこを植える会」が、750本の苗と市のヤマトチバナ50本を植えました。

同会では、「市の花であるハマナデシコを群生させて、みんなに観賞してもらいたい」と、平成8年から毎年苗植えを行っており、14回目となる今回は、約50人が参加しました。ハマナデシコは、美しいピンク色の花を咲かせる植物で、7月ごろに見ごろを迎えます。

市の花をみんなで見に来て



鳥羽一丁目にある市歴史文化ガイドセンターで、「漂泊の詩人伊良子清白展」と「みなとまち鳥羽散策マップ原画展」が行われています。

伊良子清白展では、旧宅の移築が進められている清白について知ってもらおうと、写真や詩集、直筆の選評などの貴重な資料が展示されています。

また、マップ原画展は、今年4月に鳥羽ガイドボランティアの会が作成したイラストマップで使われた、鳥羽市出身の小学校教諭、今井啓介さんが描いた市内各所のイラストの原画が展示されています。展示期間は、それぞれ今月30日までとなっています。

鳥羽の魅力を再発見



鳥羽二丁目にある扇野の里「めだかの学校」で、二宮尊徳像の建立と音楽人形館3周年を記念して、4月28日、「尊徳も、幸吉もびっくり出会いコンサート」が開催されました。

コンサートでは、尊徳の教えを広める活動をしている小田原報徳実践会の田嶋享さんとミキモト真珠島の松月清郎さんによる「尊徳と幸吉の話」の後、東京のジャズ楽団「新宿トラッドジャズ」による演奏が行われました。集まったお客さんたちは、尊徳と幸吉の意外な関係に驚くとともに、満開のフジ棚の下でのジャズ演奏に大満足の様子でした。

二人の偉人の思いを乗せて